

営業の概況（ほくほくフィナンシャルグループ）

当社における当中間期の業績につきましては、連結経常収益は1,175億円、連結経常利益は282億円、連結中間純利益は151億円となりました。連結自己資本比率は9.23%となりました。

ほくほくフィナンシャルグループ（連結）経営指標の推移

（単位：百万円）

	平成16年9月期	平成17年9月期	平成18年9月期	平成17年3月期	平成18年3月期
連結経常収益	81,907	121,149	117,549	203,200	240,986
連結経常利益	12,763	10,932	28,228	27,226	48,285
連結中間（当期）純利益	4,918	5,833	15,135	11,248	26,837
連結純資産額	364,696	382,959	416,352	380,750	406,014
連結総資産額	8,991,121	9,429,623	9,450,217	9,398,673	9,535,627
1株当たり純資産額	147.30円	161.49円	187.05円	159.75円	179.37円
1株当たり中間（当期）純利益	3.16円	3.25円	10.49円	6.86円	18.31円
潜在株式調整後1株当たり中間（当期）純利益	2.62円	2.85円	8.73円	5.67円	14.32円
連結自己資本比率（第二基準）	8.00%	8.78%	9.23%	8.33%	9.00%

営業の概況（2行合算＋分割子会社）

■ 預貸金

預金につきましては、個人預金の増加を主因に、前中間期末比1,041億円増加し、8兆2,826億円となりました。

貸出金につきましても、住宅系ローンを中心に個人ローンが順調に推移し、前中間期末比1,295億円増加し、6兆6,999億円となりました。

■ 損益状況

銀行の本来業務の収益力を表すコア業務純益は、資金利益はほぼ前中間期なみの実績でありましたが、投資信託・年金保険のほかデリバティブ商品等の取り組みによる非金利収入の増加や経費削減により、前中間期比30億円増加し、464億円となりました。

不良債権処理額は、企業業績の回復基調を受け、大型倒産や不良債権の新規発生が減少したこと、さらには、お取引先の経営改善が進み債務者区分が上昇したこと等により、前中間期比212億円減少し167億円となりました。

この結果、経常利益は前中間期比161億円増加し286億円、中間純利益は前中間期比85億円増加し158億円となりました。

■ 配当政策

当社は、傘下の銀行等グループ企業の事業の公共性に鑑み、長期にわたる経営基盤の確保に努め、株主のみならずさまに対し安定的な配当を行うことを基本方針としております。

配当につきましては、平成17年度決算公表時にお示しいたしましたとおり、普通株式は、中間配当は見送りとさせていただきます、期末配当は1株当たり2円を予定しております。各優先株式は、所定の中間配当とさせていただきます。

今後も、業績を勘案するとともに、公的資金返済を展望し、経営体質の改善・強化のため内部留保の蓄積にも意を用いつつ安定的な配当の維持に向けて努力してまいります。

■北陸銀行・北海道銀行(2行合算+分割子会社) 経営指標の推移

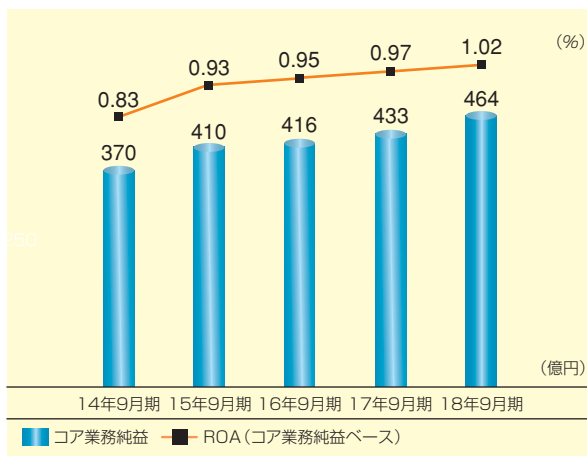
(単位:億円)

	14年9月期	15年9月期	16年9月期	17年9月期	18年9月期
コア業務粗利益	835	857	866	881	904
コア業務純益	370	410	416	433	464
経常利益	△376	58	184	125	286
中間純利益	△315	58	75	73	158

※コア業務粗利益=業務粗利益-国債等債券関係損益等

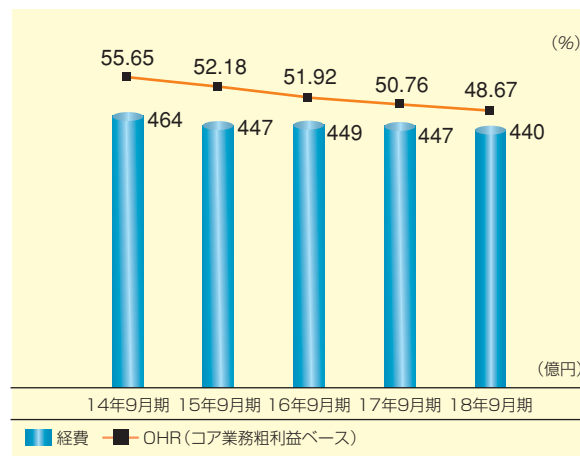
※コア業務純益=コア業務粗利益-経費

■コア業務純益の推移



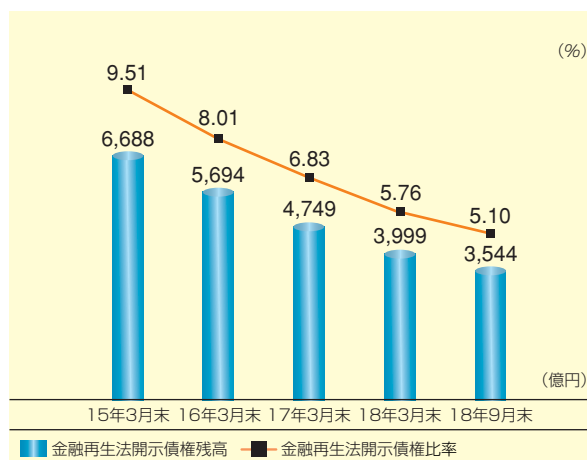
$$\text{ROA (コア業務純益ベース)} = \frac{\text{コア業務純益}}{\text{総資産平残} - \text{支払承諾見返平残}}$$

■経費の推移

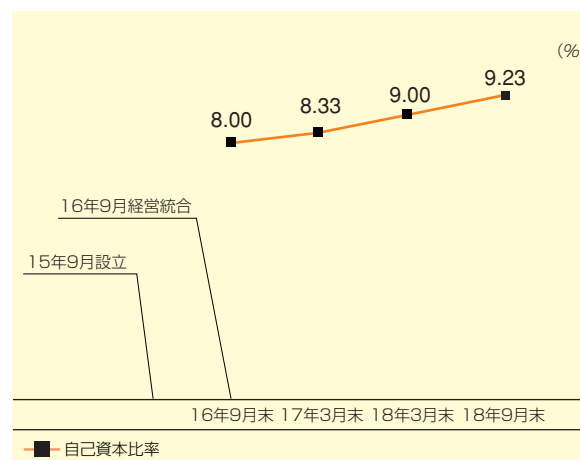


$$\text{OHR (コア業務粗利益ベース)} = \frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$$

■不良債権の状況



■自己資本比率の推移 (FG連結)



■経営合理化の進捗状況(4社合算ベース:持株会社+北陸銀行+北海道銀行+分割子会社)

店舗・人員配置や組織の見直しなど経営資源の効果的な配分と、業務のアウトソーシングや提携戦略の展開による合理化・効率化を進めてまいりました。

	15年3月末	16年3月末	17年3月末	18年3月末	18年9月末
国内支店数(注1)	262カ店	255カ店	249カ店	247カ店	247カ店
従業員数(注2)	5,347人	4,832人	4,506人	4,294人	4,312人
人件費(注3)	434億円	405億円	402億円	403億円	200億円
物件費	432億円	434億円	433億円	428億円	212億円
人件費+物件費	867億円	840億円	835億円	832億円	413億円

(注1) 出張所、外為集中店、ローン専用ダイレクト支店、払込専門支店、共同利用ATM管理専門支店を除く。

(注2) 事務職員、庶務職員合算。在籍出向者を含む。嘱託、パート、派遣社員は除く。

(注3) 持株会社から子銀行に支払う出向社員事務協力費を含む。

北陸銀行(十分割子会社)

コア業務純益は、前中間期比13億円増加し、276億円となりました。資金利益は、貸出金利回りの低下や内外金利の上昇に伴う調達コストの増加を主因として減少いたしました。投信やデリバティブ商品等の販売増加により、非金利収入は増加いたしました。また、引き続き経費節減にも取り組みました。

不良債権処理額は、新規発生の減少や再生支援などにより、前中間期比125億円減少し、127億円となりました。

以上の結果、経常利益は、前中間期比101億円増加し161億円、中間純利益は、前中間期比45億円増加し85億円となりました。

経営指標の推移

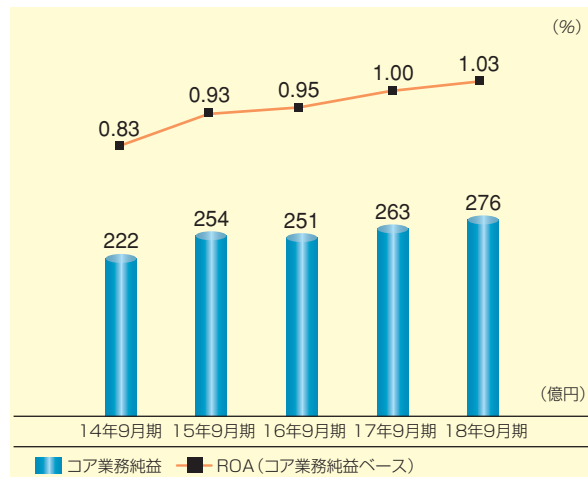
(単位:億円)

	14年9月期	15年9月期	16年9月期	17年9月期	18年9月期
コア業務粗利益	489	516	511	519	530
コア業務純益	222	254	251	263	276
経常利益	98	36	101	59	161
中間純利益	77	26	30	39	85

※コア業務粗利益=業務粗利益-国債等債券関係損益等

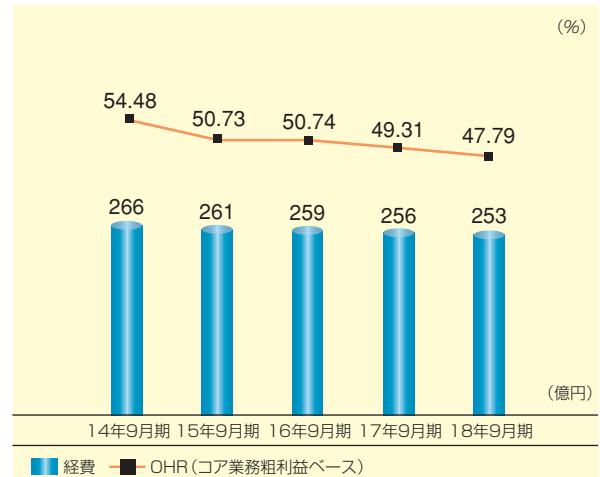
※コア業務純益=コア業務粗利益-経費

コア業務純益の推移



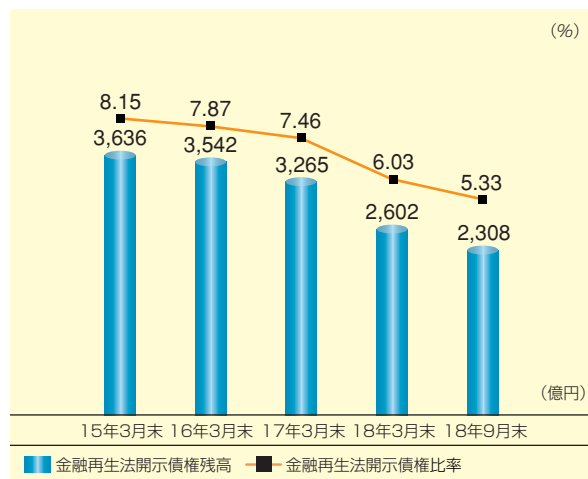
※ROA(コア業務純益ベース) = $\frac{\text{コア業務純益}}{\text{総資産平残}-\text{支払承諾見返平残}}$

経費の推移

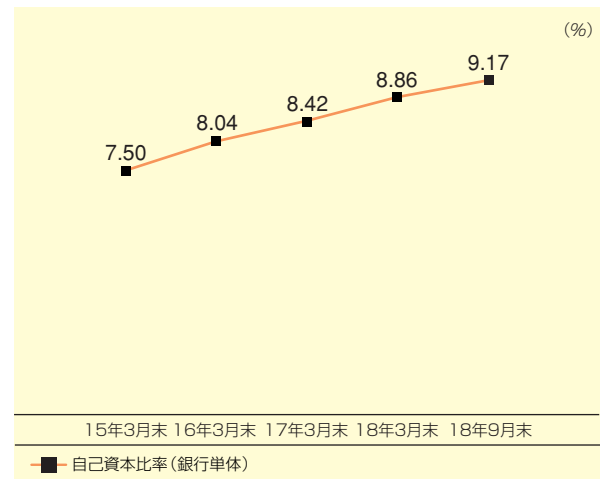


※OHR(コア業務粗利益ベース) = $\frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$

不良債権の状況



自己資本比率の推移



北海道銀行

コア業務純益は、前中間期比16億円増加し、187億円となりました。資金利益は、個人ローンを中心とした貸出金残高の増加と有価証券利息の増加を主因として増加し、お客さまのニーズにお応えする投信・保険・デリバティブ商品等の販売増加により、非金利収入も増加いたしました。また、引き続き経費節減にも取り組みました。

不良債権処理額は、新規発生の減少や再生支援などにより、前中間期比86億円減少し、40億円となりました。

以上の結果、経常利益は、前中間期比59億円増加し125億円、中間純利益は、前中間期比40億円増加し73億円となりました。

経営指標の推移

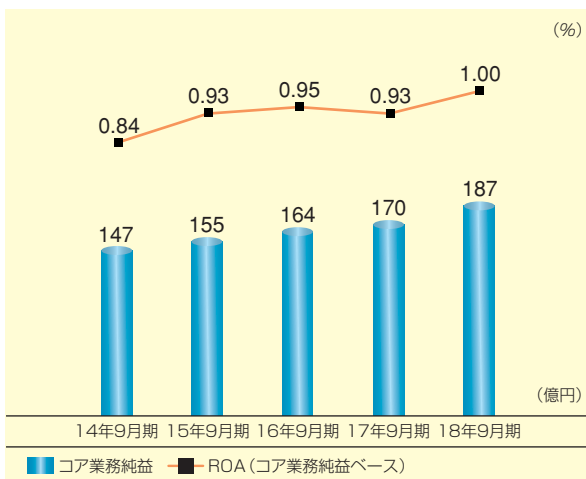
(単位:億円)

	14年9月期	15年9月期	16年9月期	17年9月期	18年9月期
コア業務粗利益	345	341	354	361	373
コア業務純益	147	155	164	170	187
経常利益	△ 475	22	82	66	125
中間純利益	△ 392	32	45	33	73

※コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券関係損益等

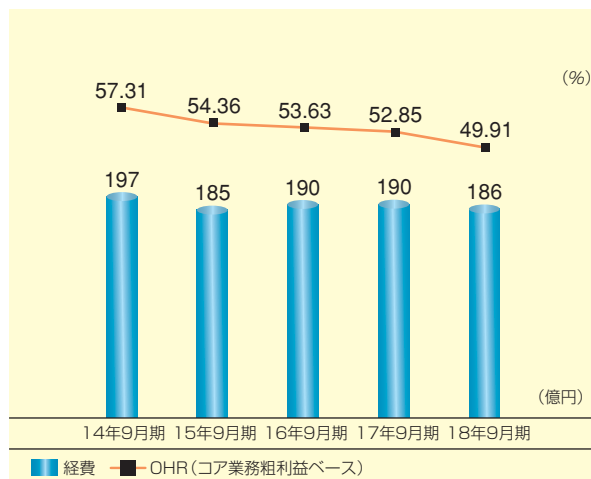
※コア業務純益＝コア業務粗利益－経費

コア業務純益の推移



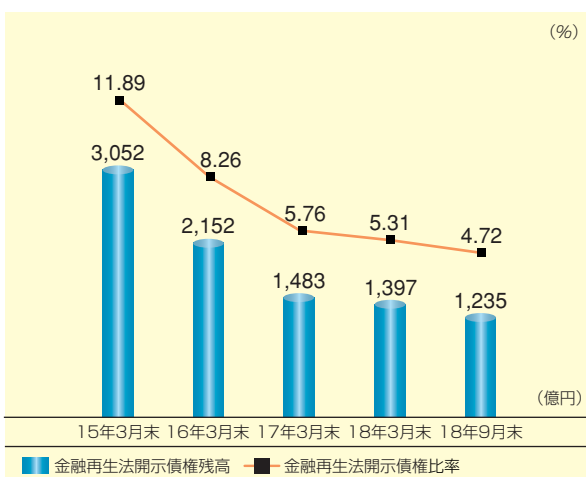
※ROA (コア業務純益ベース) = $\frac{\text{コア業務純益}}{\text{総資産平残} - \text{支払承諾見返平残}}$

経費の推移



※OHR (コア業務粗利益ベース) = $\frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$

不良債権の状況



自己資本比率の推移

